

平成10年8月5日

第20回医学生・研修医のための東洋医学セミナー

生薬の源を訪ねて

～ 中国 ～

大 黄 (黄 良 ・ 火 参 ・ 将 軍)

<原 植 物>

[中華人民共和国薬典]

正 品 大 黄 : 掌 葉 大 黄 (*R. palmatum* L.)
唐 古 特 大 黄 (*R. tanguticum* M.)
薬 用 大 黄 (*R. officinale* B.)
の 根 茎 及 び 根

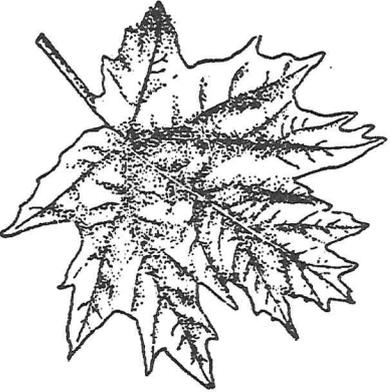
非 正 品 大 黄 : *R. emodi* Wall.、*R. tran-*
zenbachii M. (波 葉 大 黄)、
R. nobile などの根茎及び根

[日本薬局方] : 「本品は*R. palmatum* L.、*R. tangu-*
ticum Maxim.、*R. officinale*
Baillon、*R. coreanum* Nakai 又
はそれらの種間雑種の、通例、根茎である。」

雅 黄 雅 号 七 と 九



药用大黄 *R. officinale* Baill.



掌葉大黃 *R. palmatum* L.



唐古特大黃 *R. tanguticum* Maxim.
(*R. palmatum* L. var. *tanguticum* Maxim.)

未和更與三九... 藥入喉即差... 下差諸狀多者... 不中用劑去差... 中於大箇中... 九乃停於小... 下須減病重者... 下腹宿結不... 海上方治股... 益入藥中切... 合口入生薑... 以慈湯調之... 切惡物等病... 切而用也... 切定快藥至... 六醫成謂宜... 偶中病便謂... 不言用藥之... 唐本云葉似... 內絨如水旋... 如此蒸七度... 唐本云葉似... 內絨如水旋... 如此蒸七度...

唐本云葉似... 內絨如水旋... 如此蒸七度... 唐本云葉似... 內絨如水旋... 如此蒸七度...

第十卷

於日中煎乾... 用之為妙... 又方熱病狂... 外臺秘要... 千金方... 佛頓服... 未鍊蜜丸... 數動梨十五... 六黃末和醋... 之乾即易之... 梳至五更初... 每服一錢以... 水半錢煎三... 兩服取四合... 絞汁一升半... 兩緩須與當... 每日與半合... 塗頂上乾即... 更多炮或少... 蒸煮之類也

每日與半合... 塗頂上乾即... 更多炮或少... 蒸煮之類也

甘草（国老）

- [1] 内蒙草
- (1) 梁外草 内蒙古の坑綿旗地区周辺で産出され、甘草中最良品種とされる。質は充実していて粉性（粉質）が多い。外皮はナツメ色。内部はうす黄色。
 - (2) 西鎮草 ^{オトグキ} 内蒙古の鄂托克旗、寧夏の陶楽、平羅地区周辺で産出される。一本の根は均一の太さに調整されている。質は粗く充実せず、梁外草よりやや劣る。外皮は赤褐色。
 - (3) 上河川草 ^{クラトギ} 内蒙古の達拉特旗地区で産出される。
 - (4) 下河川草 内蒙古の包頭地区周辺で産出される。質は充実しておらず、粉性は少ない。外皮は灰褐色。

- [2] 西北草 甘肅の塩地、内蒙古に近い陝西省北部の靖辺、安辺、定辺周辺で産出される。多くは西安に集荷される。質は充実せず、一本の根の太さは均一に調整されていない。粉性は少なく、外皮は黒褐色で内部は暗黄色。

- [3] 東北草 内蒙古の赤峰、開魯、^{ナイマンキ}奈曼旗、通遼、突泉、遼寧省の建昌、吉林省の洮南等で産出される。内部はスカスカで外皮は赤黒く、根には根茎が残っており、上部はコブ様になっている。甘味は一番強い。

甘草老國味甘平無毒主五藏六腑寒熱邪氣堅筋骨

長肌肉倍力金瘡癰切時勇解毒溫中下氣煩滿短氣

傷藏效嗽止渴通經脈利血氣解百藥毒為九土之

精安和七十二種石一千二百種草以服輕身延年

一名蜜甘一名美草一名蜜草一名露草生河西川

谷積沙山及上郡二月八月除日採根暴乾十日成

木乾漆若參為之使惡遠志反大戟元花甘遂海藻四物

圖云河西上都復通市今出漢蜀中悉從故山諸夷中來赤

皮斷理看之堅實者是也鱉草最被刀破不復好青州間亦有

者理多虛疎又有如鱉魚腸者破不復好青州間亦有

如又有紫甘草細而實之時可用此草最為藥之主經方少

不用者猶如香中有沉香也國老即帝師之稱雖非君為君所

宗是以能安和草石而解諸毒也

苦注今甘草也蔓延生葉似荷青黃赤有節節有枝相當疏

引詩唐風云采芣芣采芣首陽之巔是也

肉諸藥眾中為君治七十二種乳石毒解一十二般草木毒

調和使諸藥有功故號國老之名也主腹中冷痛治驚癇除腹

脹補益五藏制諸藥毒養腎氣內傷令人陰痿去婦人血腫

切虛損驚悸煩悶健忘通九竅利百脉益精養氣壯筋骨解冷

熱入藥

圖經曰甘草生河西川谷積沙山及上郡今陝西及河東州

花似柰冬結實作角子如畢豆根長者三四尺葉如槐葉七月開紫

上有橫梁深下皆細根也二月八月除日採根暴乾十日成去

其輕虛縱理及細刺者不堪惟貨場家用之謹按爾雅云藟大

苦釋曰藟一名大苦郭璞云甘草也蔓延生葉似荷青黃赤

有節節有枝相當或云藟似地黃詩唐風云采芣芣采芣首陽之

巔是也藟與苓通用首陽山在河東蒲坂縣乃今甘草所生處

相近而先儒所說藟與今全別豈種類有不同者乎張仲景

傷寒論有一物甘草湯甘草附子甘草乾薑甘草瀉心等湯諸

方用之最多又能解毒百毒為眾藥之要孫思邈論云有人中烏

頭色豆毒甘草入腹即定方稱大豆解毒普試之不効乃

加甘草為甘豆湯其驗更速又備急方云帶刺史嘗言嶺南

三百兩銀藥餅久住彼與之親押乃得其法凡欲食先取甘草

一寸炙熟嚼因汁若中毒隨即吐出乃用都林藤黃藤二物酒

煎令溫常服毒隨大小便出都林藤者出嶺南高三尺餘其細

長所謂二百兩銀藥餅也又常帶甘草十數寸隨身以備緩急若

經含甘草而食物不吐者非毒也崔元亮海上方治發背秘法

本草六

廿三

李北海云此方神效極奇終以甘草三兩大兩生搗別錄未大藥
麪九兩於一大盤中相和攪令勻取上好酥少許別於入藥令
勻百沸水浸如餅劑方圓大於拳一分熱傳腫上以油片及故
紙隔令通風冷則換之已成膿水自出未成腫便內消當患腫
著藥時常須喫黃耆粥甚妙又一法甘草一大兩微炙搗碎水
一大升浸之器上橫一小刀子置露中經宿平明以物攪令味
出吹味服之但是效
腫發背皆可服甚效

雷公云凡使須去頭尾尖處其頭尾吐人每斤皆長三寸
午出暴乾細剉使一斤用酥七兩塗上外臺秘要救急瘦疾
炙酥盡為渡又先炮令內外赤黃用良外臺秘要救急瘦疾
三四佛頓服之良百一方小兒初生亦可與朱蜜取甘草一
以綿纏點兒口中可得一蠅殼止兒當快吐胃中惡汁此後待
兒飽喝更與之若兩服並不吐盡一合止得吐惡汁兒智惠無
病又方熟炙甘草煮服之若中蠱毒即內消不令吐也神驗

又方食牛羊肉中毒者煮甘草服之若中蠱毒即內消不令吐也神驗
以淡漿水蘸三二度又以爛火炙之後用生薑去梅師方初
以淡漿水蘸三二度又以爛火炙之後用生薑去梅師方初
得劑冷熱赤白及霍亂甘草一兩炙豆孫真人食忌傷寒甘
意七箇剉以水三升煎取一升分服

本草六 廿四
草如中指長炙細剉取童子小便一廣利方治肺痿久咳嗽
升和煎取七合空心服日再服之
悶寒熱甘草十二分炙搗為末每日取御藥院治二三日咽
小便三合甘草末一錢匕攪令散服
傷去滓

廣玉函 菜中有水莖若葉圓而光有毒誤食之令人
治誤飲饑中者未審中何毒卒急無藥又方治小兒撮口
可解口煎甘草養危傷服之入口便活又方及發藥方用
生甘草一分細剉以水一盞煎至六分去滓溫又方治小兒
與兒服令吐痰涎後捻乳汁點兒口中即差又方治小兒
死甘草半兩剉以水一盞煎出又方治小兒羸瘦微瘵方甘草
五分法作二服當吐盡出又方治小兒羸瘦微瘵方甘草
菜豆大每溫水傷寒類要治傷寒三二日咽痛者與甘草二
下五九日二傷寒類要治傷寒三二日咽痛者與甘草二
三又方傷寒脈結代者心悸動方甘草三姚和衆治小兒
草五分以水六合煎取二合淮南子生肌肉

淮南子 生肌肉

草五分以水六合煎取二合淮南子生肌肉

去滓一歲兒一日服令盡

草五分以水六合煎取二合淮南子生肌肉

